

子ども読書支援センターニュース No.149

2016. 10. 31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★秋のスペシャルおはなし会

○日時：平成28年11月3日（木・祝）11：00～11：50 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしよしつ3階） ○対象：幼児・小学生とその保護者 ○実演：「おはなしチェリーズ」のみなさん

○内容：人形劇「しりたがりのぼろんちゃんとりゅうの子ロビン」他 ○定員：30名程度（要申込み・先着順）

★第3回新刊児童書閲覧会

○日時：平成28年12月3日（土）13：30～15：30 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしよしつ3階） ○対象：市町図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア関係者、子どもの本に関心のある方

○定員：30名程度（要申込み・先着順）

【10月のおはなし会で使った本】

『ワンワンワン』とよたかずひこ/脚本・絵 童心社 2006

『だーれのおしり?』よねづゆうすけ/作 講談社 2015

『あめのひのえんそく』間瀬なおかた/作・絵 チャイルド本社 2007

『きょうのおやつは』わたなべちなつ/さく 福音館書店 2014

『ふっくらパン』田中四郎/作・絵 ひさかたチャイルド 2010

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『10ねこ（じゅうねこ）』岩合光昭/作 福音館書店 2016.9 ¥900

かごの中で寝ている1ねこ、扉の下から顔をちょんとのぞかせている2ねこ。木登り遊びの子ねこ2匹とおかあさんねこで3ねこ。ページをめくると猫が1匹ずつ増えていく。野原や海岸、街角や農場など、世界のあちこちで撮影された猫たちの魅力が満載。動物写真家として有名な著者による、かわいくてユーモラスな数え猫の写真絵本。

『カレーライス』小西英子/さく 福音館書店 2016.9 ¥900

カレーライスを作ろう！玉ねぎ、お肉、野菜を切って、ジュージューとお鍋で炒めたら、水を入れてぐつぐつ煮込みよ。カレーのルーを入れてから、さらにぐつぐつまた煮込み…。子どもが大好きなカレーライスができるまでを、あたたかな筆致で描く。『まるくておいしいよ』『サンドイッチサンドイッチ』の著者による食べ物絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『きょうはハロウィン』平山暉彦/さく 福音館書店 2016.9 ¥900

日本からアメリカに引っ越してきたケンちゃん。ハロウィンの夜、ケンちゃんの家におまけの仮装をした子どもたちが、お菓子をもらいにやってきた。ケンちゃんもいっしょにハロウィンの行列に加わり「トリック オア トリート」…。初めて体験するハロウィンの楽しさを描いた絵本。アメリカのハロウィンの様子がわかりやすく描かれている。

<絵本-5, 6歳から>

『りゅうおうさまのたからもの』イチノロブ・ガンパートル/文 パーサンスレン・ポロルマー/絵 津田紀子/訳 福音館書店 2016.9 ¥1400

モンゴルの草原に、怠け者の兄と働き者の弟が住んでいた。ある日弟が助けた美しい魚は竜王様の娘だった。弟は竜王様からのお礼として「水のもと」が入った箱をもらう。「けっしてふたを開けてはならぬぞ」といわれたのに、兄がふたを開けたため、弟は竜王様の元へと試練の旅に出かける。美しい色彩で描かれたモンゴルの昔話絵本。

『ダンプのがらっぱち』渡辺茂男/文 山本忠敬/絵 復刊ドットコム 2016.9 ¥2200

まじめに働くことが好きなダンプ「こんごう」。しかし、悪いダンプたちにいじめられたことから、名前を「がらっぱち」と変え、やさぐれダンプに転身する。「てやんでい！」と他の車を蹴散らしまくる「がらっぱち」に、やがて悲劇が…。『しょうぼうじどうしゃ じぶた』などの乗り物絵本の名作コンビによる、1973年偕成社刊『ダンプのがらっぱち』を底本としての復刊。

『絵巻じたて ひろがるえほん かわ』加古里子/さく 福音館書店 2016.9 ¥3000

折りたたまれたページを広げると約7メートル。ロングセラー絵本『かわ』（1962.7）を、折本仕立てにした絵巻絵本。表面は旧版同様のカラー印刷だが、絵をじっくり楽しめるように文字を省略。裏面は原流から海までの川の流れが際立つ、黒と水色の2色印刷で文章つき。両面とも最終場面に2ページ分が追加され、広大な海が広がる。

<絵本-小学校低学年から>

『わたしのそばでいて』リサ・パップ/作 菊田まりこ/訳 WAVE出版 2016.10 ¥1400

マディは字を読むことが苦手。国語の時間の音読も、クラスの子たちがぐすくすと笑うからだいっきらい。ある日ママと行った図書館で、マディは図書館員から「この犬に本を読んであげてほしいの」と頼まれる。マディが何度読みまちがえても、その白い大きな犬はただ静かにじっと聞いてくれた…。ありのままを受容すること、認められることの大切さを教えてくれる絵本。

<絵本-小学校中学年から>

『とのさまと海』三遊亭白鳥/作 小原秀一/絵 ばいけんいち/編 あかね書房 2016.9 ¥1500

釣りが下手なお殿様になんとか魚を釣らせたい。家来が釣り具屋で手に入れたのは、必ず釣れるという怪しげな釣り竿。お殿様と家来がさっそく使ってみると、なんと釣り竿がしゃべり出す…。落語家の三遊亭白鳥による奇想天外な新作落語「殿様と海」が、浮世絵風のモダンな絵柄の絵本になった。「古典と新作らくご絵本」シリーズの1冊。

<絵本-小学校高学年から>

『すきになったら』ヒグチユウコ/作 フロンズ新社 2016.9 ¥1400

すきになったら、しりたくなる。あなたのすきなものをすきになったり、あなたにとってだいじなものを、りかひしたくなる。だ

っていっしょにいたいから。すきになったら、わたしのこともしてもらいたくなる…。リズムの良い言葉と、丁寧に描き込まれたワニや赤い服の少女の絵が印象に残る。中高生や大人の心にも響く愛の絵本。

<読み物一小学校低学年から>

『タマタン』 神宮輝夫/作 長新太/絵 復刊ドットコム 2016.9 ¥1800

「ぞろむし」「タマタン」という不思議な生き物が穏やかに暮らす島々に人間がやってきた。日差しの強い島の生き物に、サングラスを売ろうとする人間。果たして彼らの平和な暮らしは守られるのか…。作者の幼い子どもたちが落書きで描いた生き物に、作者の考え出した生き物を加えて書き上げたお話。ナンセンスの神様との異名をもつ長新太が絵をつけた。1976年偕成社刊『タマタン』を底本としての復刊。

<読み物一小学校中学年から>

『ねこまつりのしょうたいじょう』 いたうみく/作 鈴木まもる/絵 金の星社 2016.9 ¥1300

食べていたアイスの棒に「ネコマツリ ゴショウタイ」の文字を見つけた小3の耕太。夏休みもあと2日しか残っておらず、宿題も気になる中、恐る恐る会場のさんかく山へ。そこで待っていた猫族たちに、12年ぶりに「ねこまつり」を開催するのに必要な3つの供物を準備するよう頼まれ、助手の猫たちと準備に躍起になるが…。人間と猫を繋ぐ使命感に戸惑いながらも、奮闘する耕太の夏のお話。

<読み物一小学校高学年から>

『マルの背中』 岩瀬成子/著 講談社 2016.9 ¥1300

小3の亜澄は母親と二人暮らし。夏休みに入ってもう3回も母に「死のうか」と言われた。その言葉から逃げた亜澄は、アパートの桜の木の下で駄菓子屋の飼育猫「マル」の世話をするように頼まれる。「マル」の背中丸い柄をなでると、願い事が叶うというが…。母子家庭の貧困に真摯に向き合いながら、子どもの心の動きを鮮やかに描く感動作。著者は、岩国市在住。

<読み物一中学生から>

『走れ、走って逃げろ』 ウーリー・オルレブ/作 母袋夏生/訳 岩波書店 2016.6 ¥720

ゲッターの外へ逃れた8歳のスリックは、ユダヤ人であることを悟られないよう名前を変え、森を放浪し、農村で働き、たった一人で生き抜いていく。危険をくぐりぬけ、心ある人に助けられ、冒険とサバイバルの日々の末…。国際アンデルセン賞受賞作家が、実話をもとに書いた生きる知恵と勇気に満ちた作品。2015年8月公開映画『ふたつの名前を持つ少年』の原作。岩波少年文庫。

『飛び込み台の女王』 マルティナ・ヴィルトナ/作 森川弘子/訳 岩波書店 2016.9 ¥1700

体育学校7年生になった今もナー ज्याが飛び込みを続けていられるのはちょっと変わった親友カルラのおかげ。ところが「飛び込み台の女王」と言われるカルラに異変が…。挑戦するときの恐怖や不安、才能の問題、家族の問題、友情や恋愛など、思春期前期の2人の少女の悩みや成長をていねいに描く。ドイツ児童文学賞受賞作品。「STAMP BOOKS」シリーズ。

<ノンフィクション一小学校低学年から>

『ただしいもちかたの絵本』 WILL こども知育研究所/編・著 WILL こども知育研究所 2016.9 ¥1500

しっかり持てれば、正しく持てれば、きれいな字が書ける。おいしく食べられる。上手に作れる。「手を使う文化」を次世代に受け継ぎ、未来を切り開く意思をもち続けることを願い、作られた一冊。おはし、フォーク、えんぴつ、ドライバー、歯ブラシなどの正しい持ち方29項目を、イラストでやさしく紹介。絵が大きく、鏡に映して左利きの人が活用することも想定して書かれている。

<ノンフィクション一小学校高学年から>

『賢治童話ビジュアル事典』 中地文/監修 岩崎書店 2016.9 ¥6000

宮沢賢治の童話に登場する物や自然、生き物などを、写真やコラムでビジュアルで紹介した事典。今はあまり見られなくなったものや、目にすることが少ないものを集め、「光と空」「土と草」「しごと」「くらし」「食べもの」の5つの章で構成。賢治自身や当時の岩手・花巻にまつわる話、歴史に関わる内容、賢治童話のどのお話に出ているのかも掲載。お話別索引も活用しやすい。

『いのる』 長倉洋海/著 アリス館 2016.9 ¥1400

人は、何のために祈っているのだろうか。何に対して祈っているのだろうか。世界の紛争地を精力的に取材し、数多くの生と死、祈りに出会った著者が捉えた、人々の姿と言葉、違いと共通点、そしてそこから見えてきたものとは…。大人数で歌い、踊り、にぎやかに祖先とつながろうとする祭りや、一人でじっと手を合わせる礼拝の様子などが、写真と全編ルビつきの文で紹介された1冊。

<ノンフィクション一中学生から>

『レジリエンス入門 折れない心のつくり方』 内田和俊/著 筑摩書房 2016.9 ¥820

「レジリエンス」(心の自然治癒力)を高め、困難に対処する力を付ける方法を、塾経営、予備校講師を経験した著者が具体的に教える。「気分や感情」ではなくコントロール可能な「行動」や「思考」に注目し、レジリエンスを弱める考え方やそれに対する処方箋を紹介する。「完璧主義ではなく最善主義に」、「自分軸の確立を」など、自分を成長させるヒントが満載!ちくまプリマー新書。

<研究書>

『入門情報リテラシーを育てる授業づくり 教室・学校図書館・ネット空間を結んで』 鎌田和宏/著 少年写真新聞社 2016.8 ¥1500

情報リテラシーの先進地域・先進校の実践研究に関わってきた著者が、小中高等学校で情報リテラシーを育てる授業づくりをどう考えていけばよいか述べる。これからの教育との関わり、授業づくりのポイント、実践校の具体例など理論と実践の両面から情報リテラシーを育てる学校図書館のあり方を考える。『小学校図書館ニュース』付録の連載をもとに書籍化。

【県内の動き】

★親子で楽しむ絵本講座～子どもと本の架け橋に～「かたおか けいこ先生のお話ライブ」

○日時：平成28年11月2日(水)10:00～11:30 ○会場：平生幼稚園 ○講師：かたおか けいこ氏(童話作家)
○照会先：平生図書館(TEL:0820-56-2310) 平生幼稚園(TEL:0820-56-2291)

★2016 図書館まつり

○日時：平成28年11月12日(土)10:00～15:00 ○会場：光市立図書館&光市文化センター
○照会先：光市立図書館(TEL:0833-72-1440)

★やまぐちおはなしのつばさによるおはなしの会

○日時：平成28年11月13日(日)10:00～12:00 ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階 第1会議室
○語り手：山口おはなしのつばさ ○対象：大人の方 ○照会先：山陽小野田市立中央図書館(TEL:0836-83-2870)

★小さなお子さん向けのおはなし会

○日時：平成28年11月26日(土)14:00～14:30 ○会場：宇部市学びの森くすのき 市民交流室
○対象：0歳から4歳くらいのお子さんと保護者 ○内容：絵本の読み聞かせ、手遊びなど
○定員：20名(要申込み・申込多数の場合は抽選) ○参加費：無料 ○締切：平成28年11月20日(日)
○照会先：宇部市学びの森くすのき(TEL:0836-67-1277)

※子どもの本や読書についてのイベント情報をお寄せください。

発行：山口県子ども読書支援センター(山口県立山口図書館内) TEL:083-924-2111(代表) FAX:083-932-2817

ホームページ：<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp> Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp